

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

【術前】

Nivolumab+PEM+CBDCA療法

3 週毎 3 コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1
オプジーボ(ニボルマブ)	360 mg/body	↓
ペメトレキセド	500 mg/m ²	↓
カルボプラチン	AUC 6	↓

【注意】 *他剤使用時は、ニボルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

*ニボルマブは、0.2 又は 0.22 μ mインラインフィルターを通して投与すること。

*ペメトレキセド投与の 7 日以上前よりパンピタン末を 1 g 分 1 で内服開始。^{注1}

*ペメトレキセド投与の 7 日以上前より

メチコパール注 500 μ g 2 A(1 mg)を筋注(以後 9 週間毎)^{注2}

注 1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

注 2:投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週毎に 1 回投与する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1 Cap 内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② オプジーボ 360 mg + 生食 64 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg(1.5 mL) + 生食 20 mL

側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

- ④ ペメトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

- ⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液 250 mL 点滴静注60分(280 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3 アプレピタントカプセル(80 mg) 1 Cap 1 ×朝 内服

day 2 - 4 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 内服

	1 コース	2 コース	3 コース
月 日	/	/	/
オプジーボ 開始時間	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時間	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時間	↓	↓	↓
確認			